

錦光山宗兵衛

[6代：1824-1884年、7代：1868-1927年]



6代



7代

錦光山は京都栗田焼の旧家で江戸時代に開窯した名門です。青蓮院や将軍の御用品も製作していました。明治の激動期に京焼のパトロンを失った中、いち早く輸出を手がけて京薩摩の生みの親でもあります。6代は幼少期より5代から陶法を学び、1836年に亡くなると、家督を継ぎました。1865年頃から輸出貿易に着手し、豪華絢爛な細密画の京風の薩摩焼で一世を風靡し、海外から非常に高く評価されました。7代は6代同様に海外の万博で多くの受賞歴があります。また1894年には陶磁器業界初の統一組合「京都陶磁器商工組合」の結成に参加し、初代組合長に選出されています。

< 海外万博の主な受賞歴 >

- 1879年：シドニー万博（銅牌）
- 1883年：アムステル万博（金牌褒状）
- 1888年：バルセロナ万博（金牌）
- 1889年：パリ万博（銀賞）
- 1900年：パリ万博（金賞）
- 1904年：セントルイス万博（大賞）
- 1905年：ベルギー万博（グランプリ）
- 1906年：ミラノ万博（大賞）
- 1908年：ロシア家具装飾万博（大賞）

< 国内の主な受賞歴 >

- 1871年：京都博覧会（銅牌）
- 1875年：京都博覧会（銅牌）
- 1876年：京都博覧会（銅牌）
- 1877年：第1回内国勸業博（花紋褒状）
- 1881年：第2回内国勸業博（銀牌）
- 1887年：京都新古美術会（名誉記念牌）
- 1903年：第5回内国勸業博（名誉賞牌）

